

α N X L 料金管理用プリンタのお取り扱いについて

電波障害自主規制

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求される事があります。

必ずお読みください

- ご使用の前に必ず本書をよくお読みください。読み終わった後は大切に保管し、必要なときに読み直しできるようにしてください。
- 本書の内容は、予告無く変更されることがあります。
- いかなる手段によっても、本書の内容を無断で転写、転用、複写することを禁じます。
- 本書の運用結果につきましては、内容の記載漏れ、誤り、誤植等にかかわらず、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本書に指定されている製品以外のオプションや消耗品を使用した場合、その結果として発生したトラブルにつきましては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本書で指示している部分以外は絶対に手入れや分解、修理を行わないでください。
- お客様の誤った操作や取り扱い方法、使用環境に起因する損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- データなどは基本的に一過性の物であり、長期的、永久的な記憶、保存はできません。
- 故障、修理、検査などに起因するデータ損失の損害および損失利益などについては、当社は一切の責任を負えません。予めご了承ください。
- 乱丁、落丁はお取替えいたします。

4424091000|H01

本商品を快適にご使用いただくために、守るべき注意事項です。必ずお読みください。

警告

以下の事項は本商品が破損もしくは故障したり、過熱、発煙する恐れがあり、火災、感電の原因となりますので絶対に行わないでください。破損、故障した場合は電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。

- 通気性の悪い場所への設置や本商品の開口部をふさぐような使用はおやめください。
- 実験室など化学反応を起こすような場所、空気が塩分やガスを含んでいるような場所への設置はおやめください。
- 指定された電源電圧（100V）、周波数（50Hz or 60Hz）以外で使用しないでください。
- 電源コード、インターフェースケーブルの抜き差しをケーブルを持って行ったり、ケーブルに重さがかかる状態で本商品を引っ張ったり、持ち運んだりしないでください。
- 本商品内にクリップ、虫ピン等の異物を落としたり、入れないようにしてください。
- 電源コードのタコ足配線をしないでください。
- 本商品にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲み物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。
- 本商品の分解、改造を行わないでください。
- 本商品に組み込まれている安全スイッチ類を強制的にキャンセルさせた状態で本商品を使用しないでください。動作不良によりケガ、火傷や感電をする危険性があります。
- 油、鉄粉、ごみ、ほこりなどの多い場所での使用は避けてください。
- 使用中に異常が発生したら、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 火気や水気のある場所、直射日光の当たる場所、暖房器具や熱器具のそば等、温度の異常に高い場所、低い場所、湿気やほこりの多い場所でのご使用、保管はしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり踏んだりしないでください。
- 電源コードを束ねて使用しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。

安全上のご注意

—必ずお守りください—

- お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。
- 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合いを次のように説明しています。

警告

この表示を守らずに、誤った使い方をすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

注意

この表示を守らずに、誤った使い方をすると「障害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

絵表示の意味



記号は、気をつける必要があることを表しています。

一般注意事項

注意

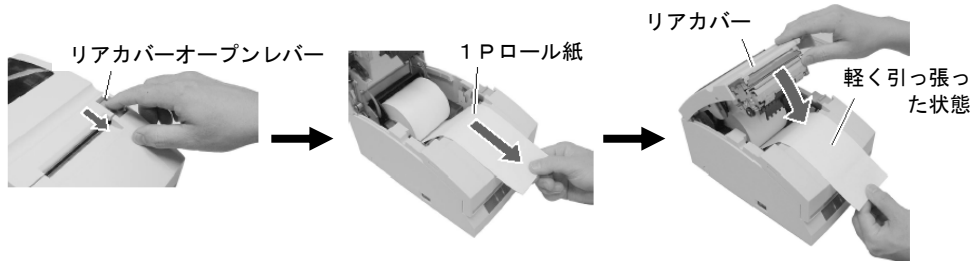
- プリンタ内部にクリップ、ピンのような物を落とさないように注意してください。故障の原因となります。
- 本商品の移動、持ち運びには十分注意してください。落下させると身体や他のものを傷つける恐れがあります。
- カバーを開けた場合には、完全にプリンタカバーを開けてから作業してください。プリンタカバーが閉じて身体などを傷つける恐れがあります。
- 誤って本商品を落下させた場合、ご自分で修理を行わないでください。
- カバーを開けた状態の時にはプリンタカバーに注意してください。エッジなどで身体を傷つける恐れがあります。
- 印字中にプリンタカバーを開けないでください。
- 本体ケース表面を清掃する場合、シンナー、トリクレン、ベンジン、ケトン系溶剤や化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 本商品に液体をこぼしたり、薬剤を吹きかけたりしないでください。
- 本商品を踏んだり、落としたり、叩いたりなど強い力や衝撃を与えないでください。
- コントロールパネル部の操作は丁寧に行ってください。乱雑な操作は故障、誤動作の原因になります。また、ペン先などの鋭利な物での操作は絶対に行わないでください。
- 故障の時、分解を行わないでください。

設置上の注意事項

注意

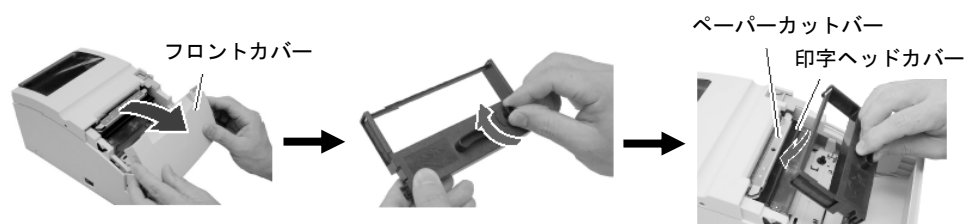
- 本商品の上に物を載せないでください。
- ラジオやテレビの近くで使用したり同じコンセントを使用したりすると受信障害の原因となることがありますので、注意してください。
- コネクタの接続は確実に行ってください。特に極性が逆に接続されると、内部の素子が破壊されることがあります。
- インターフェースケーブルの取り付けや取り外しは、必ず電源スイッチを“OFF”にしてから行ってください。
- 信号線を長く配線したり、ノイズの多い機器と接続したりすることは極力避けてください。やむをえず配線する時は各信号毎にシールド線、ツイストペア線などを使用するよう十分な対策をしてください。
- 機器の近くにコンセントがあり、かつそのコンセントから電源プラグを抜き、容易に電源を遮断できるように設置してください。
- コンセントは、アース端子止めネジ付タイプを使用してください。使用しないと、静電気でケガをする恐れがあります。
- カバー部を持って持ち運びしないでください。機器破損や動作不良等を生じる可能性があります。

2 ロール紙のセット



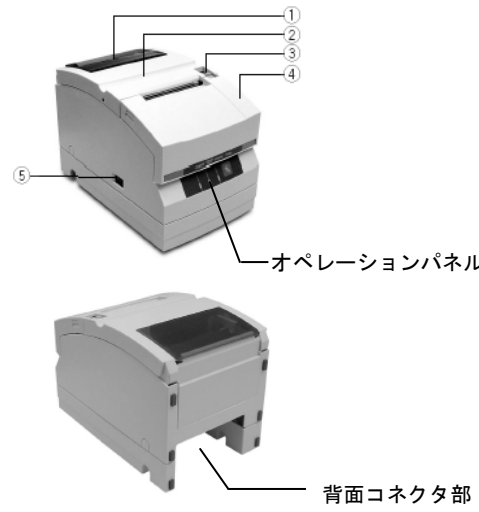
1. リアカバーオープンレバーを手前に引いて、リアカバーを開けてください。
2. ロール紙をセットし、ロール紙の端をもって図のようにまっすぐ手前に引いてください。用紙の中央をもってできるだけまっすぐに引き、用紙の片側がたるまないようにしてください。
注) ロール紙をセットする際は、用紙のエッジで手を切らないように注意してください。
3. ロール紙を張った状態で、リアカバーをカチッと音がするまでしっかり閉めてください。自動的に紙送りをして印刷開始位置で止まります。
注) リアカバーを閉めるときは、手を挟まないように注意してください。
4. ロール紙の端の片側を持って手前に引き、余分な紙をカットしてください。
注) 内部にペーパーリップ等の異物が入らないように注意してください。

3 リボンカセットのセット



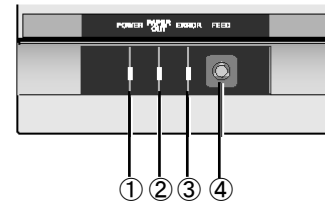
1. プリンタのフロントカバーを開けてください。
フロントカバーの両端のくぼみに指をかけて両手で開けてください。
2. リボンカセットのつまみを矢印の方向に回して、リボンがピンと張った状態にしてください。
3. リボンがペーパーカットバーと印字ヘッドカバーの間に入るようにして、カチッと音がするまでカセットを差し込んでください。入りにくい場合は、再度リボンカセットのつまみを回してください。
4. フロントカバーを閉じてください。
注) リボンカセットを交換するときは、印字ヘッドカバーに触れないように注意してください。印字ヘッドが熱くなっているときは、やけどをする恐れがあります。

1 各部の名称



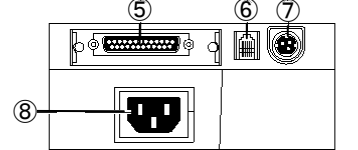
- ① ペーパー確認窓
セットしたロール紙の残量を確認することができます。
- ② リアカバー
ロール紙をセットまたは交換する際に開けます。
- ③ リアカバーオープンレバー
リアカバーを開けるためのレバーです。手前に引くとリアカバーが開きます。
- ④ フロントカバー
リボンカセットをセットまたは交換する際に開けます。
- ⑤ 電源スイッチ
プリンタの電源をON/OFFします。

オペレーションパネル



- ① POWER LED (緑)
電源を入れると点灯します。メンテナンスモードの設定時やエラー表示の際に点灯または点滅します。
- ② PAPER OUT LED (橙)
紙なしの時、点灯します。メンテナンスモードの設定時やエラー表示の際に点灯または点滅します。
- ③ ERROR LED (橙)
リアカバーまたはフロントカバーが開いていると点灯します。メンテナンスモードの設定時やエラー表示の際に点灯または点滅します。
- ④ FEEDスイッチ
スイッチを押すと、紙送り(1行分)をします。押し続けると離すまで連続で紙を送ります。
また、プリンタがエラー状態の時にこのスイッチを押すと、エラー状態を解除することができます。

背面コネクタ部



- ⑤ インターフェースコネクタ
シリアル(RS232C)インターフェースケーブルを接続します。
- ⑥ ドロワーキックコネクタ
未使用。接続しない事。
- ⑦ 電源コネクタ
未使用。接続しない事。
- ⑧ 電源インレット
電源コードを接続します。

4 紙づまりの解除

1. 電源を切り、リアカバーを開けてください。
2. 詰まった用紙を残らず取り除いてください。
(セットされたロール紙も一度外してください。)
3. リアカバーを閉じて、電源を入れてください。
エラーが解除されます。

注) 詰まった用紙を取り除く際は、印字ヘッド周辺に注意してください。やけどをする可能性があります。

5 ロール紙がなくなったとき

ロール紙がなくなったときは、印字中のデータを印字後、PAPER OUT LEDが点灯します。その後の印字は、ロール紙を交換するまで受け付けません。

6 印字中に電源を切ったとき、停電したとき

印字中に電源を切ったとき、または印字中に停電になった場合、印字中のデータは失われますので、もう一度印字の操作を行ってください。